神戸元町ちどりだより

令和4年4月　第73号　神戸元町ちどり保育園

１階園庭のチューリップ、ムスカリ、サイネリア、街の中で見かける桜、ほかにも色とりどりに咲いた花が温かい春の光に包まれて、心和ませてくれます。つい先日、誇らしげに大きく一歩を踏み出した卒園児 14 名が歌っていた「世界に一つだけの花」が耳に残っています。それぞれが特別なオンリーワンとして輝けるようにと願いつつ、本日、新入園児 14 名を迎え、神戸元町ちどり保育園７年目のスタートです。社会福祉法人晋栄福祉会の令和４年度事業方針は「それぞれのバリアフリー宣言～行動計画と実践～」です。子どもたちと職員と保護者の皆様と、そして保育園に関わって下さる多くの方々と、心のバリアフリーを念頭に置いて保育を進めていこうと思います。「元気で生き生きとした子ども・明るく心豊かな子ども・友だちとよく遊び、互いに認め合える子ども・自分で考え工夫する子ども」という法人の保育目標のもと、“いっぱい遊び、いっぱい学ぶ”園生活で、子どもたちが心も体も健やかに育つ保育を展開し、子どもの主体性を大切にする関わりに努めます。相手の立場に立ち自分の思う正解を押し付けるのではなく「どうしたの？」「どうしたいの？」「何か私に出来ることある？」という言葉で対話を促し、自分で方法を考えて問題解決の方法を探る、そこにはいつも寄り添い、見守り助けてくれる人がいるという環境にしたいと考えます。子どもも大人も元気に楽しく安心して通って頂ける園となりますよう、職員一同心を合わせます。子どもたちの笑顔を守りつつ、私たちも共に成長していきたいと思っています。お困りのこと、お気付きのことがありましたら、気軽に職員誰でも構いませんので声を掛けて下さい。今年も一年、どうぞよろしくお願いいたします。　　新村　久美子

あさひ組　　凪沙　・　陽子

０歳児のテーマは「ふれる」です。これから沢山のものに出会い、音、感触や気持ちなどに“ふれて”様々な経験をしていく子どもたち。その中で、友だちや保育士と心を通わせ、保育園が楽しく心地よい場所になるように、スキンシップを取りながら丁寧に関わります！

ひかり組　　奈緒美　・　奈都

ひかり組は今年度“うごく”がテーマです！出来る事がどんどん増え、身の回りの不思議に関わろうと主体的に動く姿が見られます。知らないことがいっぱいの子どもたち。心が動く瞬間を見逃さないように、一人ひとりに寄り添いながら、保育を進めたいと思います。

にじ組　　彩乃　・　真耶

今年度のテーマは『人やものと関わる』です。友だちと思いがぶつかることも増える２歳児。色々な経験を重ねる姿を見守り、一人ひとりの気持ちに寄り添いたいと思います。まだまだ知らない世界がたくさんある子どもたち。身の回りの物に触れる中で、新たな発見に繋がるようなきっかけを作っていきます！

きりんグループ　　鮎

一人ひとりの子どもが「友だち大好き♡」「保育園って楽しい！」「明日も続きをして遊びたいな」と感じられるような毎日にしていきたいと思います。日々過ごす中で、興味があることに注目し、みんなで面白がり、そこから遊びに発展する保育に繋げます。

ぞうグループ　　智世

子どもたちの姿を受け止め、不思議だなと思うことや興味、関心があるものから遊びを深めていこうと思います。また、この現代社会に目を向け、命の大切さや、元気に過ごせる幸せさなどについても、子どもたちと一緒に考える時間を作っていきます。

うさぎグループ　　七重

子どもたちが興味を持ったことを広げ、深めていけるように、必要な環境を整え、“チャレンジしよう”とする一人ひとりの姿に寄り添いたいと思います。また、友だちと過ごす中で思いを伝え合ったり、試錯誤したりしながら一緒に活動を展開する楽しさを味わえるよう、援助していきます！

４月の予定

入園式	１日（金）	進級お祝いの会	４日（月）	体育遊び	７日（木）・ ２１日（木）
避難訓練	１４日（木）	誕生会	２０日（水）	発育測定	２５日（月）～２７日（水）

※個人面談がありますので、各担任とご調整ください。

神戸元町ちどり保育園
職員紹介

今年度も新メンバーを迎え、職員１７名。
気持ちを新たにスタートします！
『子どもの時に信じていたこと・勘違い』を
テーマに自己紹介いたします。

車でトンネルを通ったら外国に繋がっていて、中で窓を開けると、お化けが入ってくると思っていた。

梅干しやすいかなどを食べた後、種を植えると芽が出てきて木が生えると思っていた。

おこづかいをずっともらっていると、両親のお金がなくなると思っていたので、おこづかいを返していた。

雷が鳴ると、おへそを取られると思っており、光るたびに両手でおへそを守っていた。

ディズニーのアリエルが本物だと思っていた為、雨の中会いに行き見つけた瞬間傘を投げ捨てて抱きつきに行っていた。

お月様では、うさぎが本当におもちをついていると思っていた。三日月になると、うさぎはどこか心配した。

雲の上に乗れると思ってトランポリンみたいに遊べると思っていた。

家の裏の山にトトロが住んでいると思っていて、側を通る時にいつもドキドキしていた。

“おへそのごまをとったらお腹が痛くなる”と祖母がよく言っていた。取ったごまを食べられると思っていた。

虹が見えて走ったら、虹のトンネルを通り抜けることができると思っていた。

テレビで流れている昔の白黒映像を見て、その時代は白黒の世界で色のない世界だと思っていた。

お母さんは病気にならないと思っていたけど、病気になった時にびっくりして泣いてしまった。

「森のくまさん」のくまは親切だったので、くまは優しい動物だと思っていた。

三宮駅近くのそごうデパートを阪神デパートだとばかり思い込んでいた。

車に乗っている時に、窓から月を眺めていたら、ずっと後をついてきて、怖くなった。

トイレ掃除をしたら美人になると言われ、信じてピカピカに磨いていた。結果はご覧の通りです♡

爪を夜に切る時には、「夜切る爪は、ねこの爪」と言わないといけないと信じて、中学生まで言っていた。

どうぞよろしくお願いいたします！